

大河原／地域情報誌の編集長をしている。その立場から、テーマを話す。

自己紹介から。埼玉県在住。県内で地域情報の新聞を編集している。

地域づくりの課題はいろいろある。私の立場から見た行政の政策課題。ハードありきになりやすいこと。予算の問題もあるだろう。

全国初の子育て施設を作ったとする。行政が新しい仕組みを作る。それで、新しい動きが生まれると考える。

これも子育ての課題解決策の提示にはなる。利用者も喜ぶ。

だが、地域に運営のノウハウがないと、他地域の業者が携わることに。地域内の課題解決の人材は増えない。予算も他地域に使われる。

地域の人材育成が大切。ハードとソフトの両面を進める必要がある。もう1つ。持続可能性。この課題を実感している。コロナ禍で特に。

お祭りや自治会は誰が受け継ぐのか。

お祭りにはノウハウがある。のぼりの材料、立て方1つでもそう。

3年経つと、人も亡くなりノウハウが失われる。のぼりがあったかも分からなくなる。

自治会もそう。批判も受けるし、あり方は考え直すべき時代。だが、ごみの収集など、地域システムを自治会が支える現実がある。

若い世代が加わり、持続可能とするかが課題。